

失語症リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1・2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 田村至 黒崎芳子

【概要】

失語症にかかわる検査法、解析法、治療法を学ぶ。

【学修目標】

1. 失語症の障害メカニズムについて説明できる。
2. 臨床症例で失語症の解析法を列挙できる。
3. 失語症の治療法について説明できる。
4. 失語症の治療研究を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 7	失語症の理論と治療について	失語症の症状、タイプ分類、評価法、訓練プログラムの立案、治療法について学ぶ	田村至
8) 15	失語症の障害機構と治療理論、研究法	失語症の障害メカニズムに基づいた治療理論、研究方法について学ぶ。	黒崎芳子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート50%、平常点50%

【教科書】

指定しない

【学修の準備】

1. 失語症の基礎知識について文献を読む。（80分）
2. 講義の内容に関して、復習する。（80分）

【実務経験】

田村至（言語聴覚士）

黒崎芳子（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。